

電波利用環境委員会報告（案）に対する意見募集の結果及び意見に対する考え方

- 「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格」のうち「マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ要求事項-」 —
（平成 30 年 10 月 18 日～平成 30 年 11 月 16 日意見募集）

提出件数：4 件（法人 3 件、個人 1 件）

No	提出された意見	意見に対する考え方	修正の有無
1	<p>電波利用環境委員会報告（案）に賛成いたします。</p> <p>本答申（案）は国際規格 CISPR35 に整合されており、当産業協会の掌握製品においても利用されることが想定されます。そのため、当産業協会では試験を実施するための業界指針の作成を検討しており、参照規格として統一した試験方法で高い試験再現性を持った国際規格を必要としています。本答申（案）は、その際の参照規格として利用させていただくことができるので、有効なもの判断いたします。</p> <p>よって、本答申（案）が迅速に答申されること希望いたします。</p> <p>【(一社) ビジネス機械・情報システム産業協会 電磁環境専門委員会】</p>	賛成意見として承ります。	無
2	<p>「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格」のうち「マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ要求事項-」につきまして、下記の通り意見を申し上げます。</p> <p>従来、国際規格の CISPR 24 に準拠した国内答申を用いて JEITA（電子情報技術産業協会）規格を作成しておりましたが、2020 年には CISPR 24 が廃止になるため、後継規格である CISPR 35 を用いることが急務となっており、早急に国内答申されることを</p>	<p>賛成意見として承ります。</p> <p>御指摘いただいた「(グラウンド部)」については、金属シェル部が必ずしもグラウンド部にならないため、削除させていただきます。</p>	有

	<p>望みます。意見募集対象である「電波利用環境委員会報告（案）」は、編集上の修正がされており、適当と考えます。ただし、静電気試験における注意文の追加について（略）「注）接触放電に関して、開状態のコネクタは芯線でなくコネクタの金属シェル（グラウンド部）にのみ適用が要求される」という文言に対し、バッテリー機器など、金属シェルが常にグラウンド接地されるとは限らないため、「（グラウンド部）」は削除したほうがよいと考えます。</p> <p style="text-align: center;">【(一社)電子情報技術産業協会 EMC 委員会】</p>		
3-1	<p>「電波利用環境委員会報告（案）」に対する意見募集」について下記の通り意見を申し上げます。</p> <p>本規格は、主機能毎にイミュニティ試験方法や性能判定基準が設けられているため、各工業界に所属するメーカーが工業界毎に定められたガイドライン等が異なることなく参照するための統一規格として国内答申は有用であると考えます。</p> <p>本報告（案）が早急に答申されることを希望します。</p> <p style="text-align: center;">【(一社)情報通信ネットワーク産業協会】</p>	賛成意見として承ります。	無
3-2	<p>P2 目次 付則 B（規定）印刷機能</p> <p>「付則 B（規定）印刷機能」以外の付則が太字であるのに対して、この付則の「印刷機能」の文字が細字であるため、他の付則と文字の太さを統一したほうがよろしいと考えます。</p> <p style="text-align: center;">【(一社)情報通信ネットワーク産業協会】</p>	御指摘のとおり修正させていただきます。	有
3-3	<p>P67 付則 G（規定）オーディオ出力機能 図 G.2 - 音響的測定のための基本試験構成例</p>	御指摘のとおり修正させていただきます。	有

	<p>付則 G、図 G.2 内のフィルタの文字が一部欠落しております。図 G.4 内の矢印 4 箇所が何を示しているのか不明なため追記が必要と考えます。</p> <p>【(一社) 情報通信ネットワーク産業協会】</p>		
4-1	<p>(1) 「CISPR (国際無線障害特別委員会)」の事と考えますと、「EMC (電磁両立性)」における「エミッション (放射)」及び「イミュニティ及びイリラデュエーション (輻射)」の事と考えますので、「EMI (電磁妨害)」及び「EMS (電磁感受性及びイミュニティ)」の事と思います。マルチメディア機器の性能判定基準における「EMS (イミュニティ)」での試験分野での「電界、磁界、電圧、電流」等に、耐久が出来る能力の事と考えます。具体的には、「電磁流体 (プラズマ)」を提唱する事と成ると考えます。宇宙構造では、「ハイパーノバ (極超新星)」での「プランク定数 10 のマイナス 44 乗秒程」の「4 大統一理論 (重力、電磁気力、強い核力、弱い核力)」に行き着くと考えます。</p> <p>【個人】</p>	御意見として承ります。	無
4-2	<p>(2) 「総務省総合通信基盤局電波部電波環境課電磁障害係」が提唱している内容での「電波利用環境委員会報告 (案)」では、「強電 (ハイボルト)」での「AC (交流)」に対する詳細での内容が多いですが、「弱電 (ロウボルト)」での「直流 (DC)」に対する詳細での内容が少いです。EMC には、「EMI 及び EMS」が有ります。EMI とは、マルチメディア機器での自身以内から、発生する電波を干渉させない為に測定し試験する事で有り、EMS とは、マルチメディア機器での自身以外から、発生する電波を妨害させない為に測定し試験する事と考えます。</p> <p>具体的には、「Assy 基板 (実装基板)」や「ハーネス (ケーブル)」等において、ノイズ対策と言うのは、アナログ回路の部分からパルスに乗るノイズが出て来る事が多いですが、デジタル回路の部分からパルスに乗るノイズが出て来る事は少ないと思います。要約すると、アナログ回路のトランジスタ回路の同期を作り出す「クリスタル</p>	御意見として承ります。	無

(水晶)」でのクォーツ回路の部分が、ノイズが多いと考えますので、対策としては、「コンデンサー (C)」対策と思います。「シャーシ (ユニット)」でのネジの「挿入や挿出」等のレベルでも「グラウンド (GND)」が浮く場合では、ノイズが混入すると考えます。「GND リップルリジェクション」等の試験も効果的と考えます。

【個人】